



新6年生

部長 勝木 茂

陽射しも日ごとに明るくなり、岩瀬キャンパスの木々の葉も少しずつ緑が鮮やかになってきました。リニューアルした校舎で迎えた新年度も早3週間が経ち、新1年生の表情もずいぶんと柔らかくなってきた感じがします。

西館2階の1年生→3階の2年生→音楽室→4階の3年生→本館3階の図書館→4年生→図工室→4階の5年生→理科室→家庭科室→5階の6年生→多目的学習室、1日の中で時間があれば何回かこの順番で初等部生の授業への取り組み状況や先生たちの授業の様子を見て回っています。

新しい学年・学級となり張り切っている様子は、先生の発問へ挙手する腕が真っ直ぐに伸びていること、ノートに書いている字のこれまで以上のていねいさ、そして何より集中力が高まっている目の輝きから伝わってきます。

特に新6年生は、いわゆる最高学年の自覚が溢れているように感じます。今年度の入学式の中で、新1年生に向けて「わからないことや困ったことがあったら、6年生のお兄さんやお姉さんたちがきっとやさしく教えてくれると思います。」と話しました。



【朝、1年生の教室での6年生の活躍場面】

現在、1年生は登校してくると、玄関での履き替えをはじめ、教室での着替えや準備を6年生に手伝ってもらっています。休み時間

には1年生が楽しめるよう多くの6年生と一緒に遊んでくれます。4月25日(月)には、地区別集会(同じ地域や方面から登下校する児童が一堂に集まり、互いの顔と名前を確認したり、登下校時のマナーや安全を確認したりするための集会)がありましたが、この場面でも6年生としての自覚が感じられとても嬉しくなりました。人は、自分が人の役に立っていると感じる時、自分は大切な存在だと思えるようになります。いわゆる自己有用感です。自己有用感は、親や教師の適切な評価とそれらの積み重ねにより、さらに高まり「自分はかけがえのない存在だ」と思えるようになってきます。同時に感謝の気持ちも生まれてきます。これらは本学が大切にしている「感謝と奉仕に生きる人づくり」につながっていきます。6年生の更なる成長に期待しています。

さて、初等部だより4月号にてお知らせいたしましたように、今後の感染状況を見ながらとはなりますが、様々な教育活動を少しずつ通常の状態に戻していきます。

現時点では、5月13日(金)授業参観、21日(土)運動会、6月22日(水)～24日(金)修学旅行については実施予定です。また、5月下旬頃から、子どもたちの清掃活動を再開し、「放課後講習」を対面での実施に変更いたします。6月上旬からは、「こもれびの部屋」を一部再開し、毎週木曜日に「課外クラブ」(4年生以上任意参加)を再開いたします。ただ、3密を避け、下校時刻をあまり遅くならないようにする必要もあり、全ての教育活動をコロナ禍前に戻すことはなかなか難しいと考えております。詳しくは、今後その都度、文書やメールにてお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染予防については、気を緩めることなく引き続き対策を徹底する必要があります。これまで同様、登校前のご家庭での検温をはじめとするお子様の健康観察を十分に行っていただき、風邪症状(発熱、咳、喉の痛み等)がある場合は医療機関での受診やご自宅での休養などをお願いいたします。